

## 会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日時	令和2年12月17日(木) 9:30~12:30
場所	沖縄県立図書館6階研修室
出席委員名	望月 道浩会長、宮里 寿子副会長、東盛 敬委員、山城勝美委員、比嘉 良洋委員、新垣 吉宗委員、大田 将之委員、山城正也委員、榮野川敦委員、山口 真也委員(リモート) (10名)
議題及び報告事項	報告事項1 沖縄県立図書館運営状況について 報告事項2 沖縄県立図書館窓口運營業務委託モニタリングの結果について 協議事項1 沖縄県立図書館評価指標に基づく図書館評価(令和元年度対象)について 協議事項2 沖縄県立図書館運営方針(仮称)(案)について 協議事項3 新たな図書館評価について
会議の概要	報告事項、協議事項について、質疑応答及び協議を行った。 委員からの質疑及び協議結果等については別紙のとおり。
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県立図書館
問い合わせ先	総務班 担当 玉那覇・小池 電話 098-894-5858
備考	

## 会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日時	令和2年12月17日(木) 9:30~12:30
場所	沖縄県立図書館6階研修室
会議の概要	<p><b>報告事項1 沖縄県立図書館の運営状況について</b></p> <p>○レファレンス件数について、レファレンスの定義のすり合わせを行った上で集計をし直すということだが、令和2年度は9月から10月にかけて結構件数が増加している。この頃からすりあわせを開始して、10月あたりから反映されていると捉えてよいか。 〈回答〉ある程度のすりあわせは行っている状況だが、次年度までにきちんと定めたい。</p> <p>○貸出冊数について、コロナによる影響で休館となった場合、貸出冊数に対する返却率や延滞数について、影響はあるか。 〈回答〉今のところ大きな影響はないと捉えている。</p> <p>○「ひーじゃー便」(宅配サービス)の概要はどういったものか。 〈回答〉利用者の方からメール、ファックス、電話などで本の要望を聞き、梱包して1週間に1回ないし2回、有料で発送するサービス。5月と8月に実施し、64件、375冊の利用があった。</p> <p>○レファレンスの集計に関して、簡単な書架の案内ということでも、そこから利用者のニーズを掴んで、選書に反映するということもある。今、県立図書館は窓口と選書が分かれていると思うので、クイックレファレンスであっても、ちゃんと記録として残しておく、いい面もあるのではないかと。また、レファレンスの定義の見直しの際、レファレンスの質問種毎に統計を取ったり、難しい質問、簡単な質問等、種類を分けて定義を見直すと良いのではないかと。 〈回答〉委員の意見どおり、しっかり対応していきたい。</p> <p><b>報告事項2 沖縄県立図書館等運営業務委託モニタリングの結果について</b></p> <p>○基礎的項目の評価のうち、「適切な人員体制」の評価が「○」なのに対して、「サービスの継続性・計画的運営」では、定着率の悪さを挙げて「△」となっているが、整合性について、どう考えているのか。 〈回答〉評価について完璧にできているので「○」という訳ではない(仕様に照らして適切に業務を行っていると思われる場合は「○」となる。)。また、評価にあたっては、受託者の自己評価やヒアリングでの確認内容も参考に総合的に判断している。</p>

<p>附属機関等の名称</p>	<p>沖縄県立図書館協議会</p>
<p>日時</p>	<p>令和2年12月17日(木) 9:30~12:30</p>
<p>場所</p>	<p>沖縄県立図書館6階研修室</p>
<p>会議の概要</p>	<p>○「適切な人員体制」に関連して、「司書資格取得者や外国語対応可能職員については確認書類がなく」という記載があるが、仕様書には司書資格の有資格者の配置率について定めがなかったということか。また、賃金の確認方法について、どういった立場の方を対象に行ったのか。          〈回答〉司書資格の有資格者の配置について、常時各フロアに配置するという定め方をしており、配置率による規定にはなっていない。賃金の確認については、責任者、フルタイムで働く方と、シェアで働いてる方の3名分について行った。</p> <p>○モニタリングの際の提出書類について、強制力はあるのか。          〈回答〉現契約では、具体的な提出書類等について、事前に定めておらず、強制力はない。次期契約では、契約書に調査の実施について明記し、対応できるようにしたい。</p> <p>○委託業者の職員の定着率について、全国と比べて低いとのことだが、委託業者が受託している全国の図書館の定着率との比較か。また、県内の他の業種との比較も必要ではないか。          〈回答〉定着率は全国平均のパートタイムの定着率と比較したものだが、受託業者の自己評価でも「△」とされており、全国の他の受託団体と比較しても低いものと思われる。</p> <p>○「サービスの水準の維持・向上」についての評価内容で「主体的な取組の実施」という記載があるが、どういったことを想定しているのか。          〈回答〉利用者サービスの向上につながる掲示物の提案等を想定している。</p> <p>○仕様書への要望として、司書有資格者率を現実的な範囲で構わないので入れたらどうか。また、社員登用制度を備えていることを参加条件に加える方法もありうる。</p> <p><b>協議事項 1 沖縄県立図書館評価指標に基づく図書館評価          (令和元年度対象) について</b></p> <p>○基本指標の蔵書冊数について、旧八重山分館の資料を譲渡することは事前にわかっていたはずなのではないか。          〈回答〉譲渡の処理と除籍のシステム上の処理日にずれがあったこともあり、目標設定の際に組み込むことができなかった。今後は、事前にすりあわせができるよう気を付けていきたい。</p> <p>○将来的な蔵書数はどれくらいを目標にしているのか。          〈回答〉施設の収容数としては、220万冊程度が想定されているが、いつになるのかという具体的な時期は設定されていない。</p>

<p>附属機関等の名称</p>	<p>沖縄県立図書館協議会</p>
<p>日時</p>	<p>令和2年12月17日(木) 9:30~12:30</p>
<p>場所</p>	<p>沖縄県立図書館6階研修室</p>
<p>会議の概要</p>	<p>○郷土資料について、購入資料の減があったということだが、寄贈資料等購入しない資料は減少していないか。          〈回答〉新規で寄贈いただいた資料については全て登録しているが、システム変更による入力方法の変更等により、過去に寄贈いただいた未整理資料の処理は進まなかった。</p> <p>○大型寄贈の状況等により、収集はしているが、登録まで至らないという状況も発生するので、外部評価の際は考慮が必要。</p> <p>○電子図書館の評価項目について、成果が頭打ちとなっているものもあるため、外部評価をするときには、いい評価をしてもいいのではないか。</p> <p>○オープン当初は利用が多いので、オープン初年度を評価の基準にするのは避けた方がいいと思う。</p> <p><b>【協議結果等】</b>          令和元年度の評価については、事務局の評価案のとおりとし、外部評価については、委員意見を踏まえ、今後、会長が事務局と調整して、公表に向けて進めることとなった。</p> <p><b>協議事項2 沖縄県立図書館運営方針(仮称)(案)について</b></p> <p>○目標2に関連して「琉球・沖縄関係資料」とするか「郷土資料」とするかについて、奄美が入るか入らないかといった点が明確に打ち出されるかどうか違いが出てくると考える。</p> <p>○目標2の【現状と課題】に記載されている「沖縄戦等により失われた戦前の資料」という表現について、海外で焼かれた資料があることも確認されてきている為、「戦災等」という表現にした方が良い。</p> <p>○「障がい者等サービス」との記載があるが、学校や文科省は「害」と漢字表記で揃える方向にあるのではないか。          〈回答〉確認後、対応する。</p> <p><b>【協議結果等】</b>          協議内容について、後日、事務局で整理し、メール等により委員に共有し確認を取る事となった。</p> <p>※「協議事項3 新たな図書館評価について」は、時間の都合上、説明のみ行い、後日、メール等により意見聴取することとなった。</p>